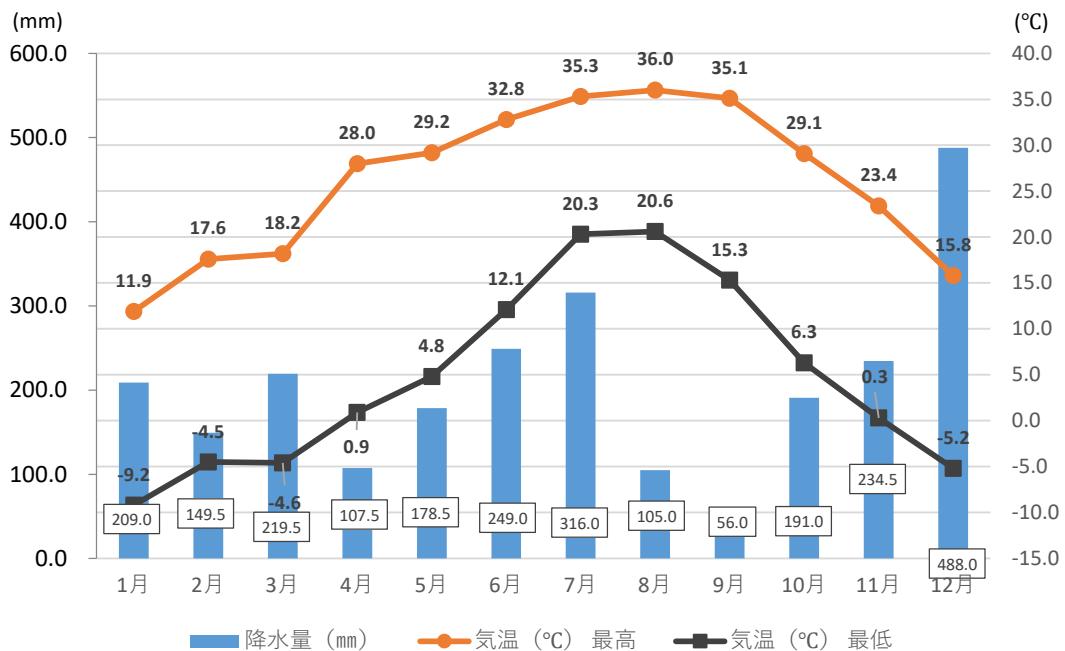


気象

気温（月最高・最低）と降水量（月間）（令和6年 資料提供：福井地方気象台）



過去気象最高（低）記録（資料提供：福井地方気象台）

日最高気温

36.9 °C

平成24年7月31日記録

(昭和51年3月～統計開始)

日最低気温

-15.8 °C

昭和60年1月19日記録

(昭和51年3月～統計開始)

日降水量

211.0 mm

令和4年8月4日記録

(昭和51年3月～統計開始)

月最高深積雪

262 cm

昭和56年1月15日記録

(昭和55年10月～統計開始)

降雪の深さ日の合計

69 cm

昭和55年12月28日記録

(昭和55年10月～統計開始)

日最大風速

南東 14.2 m/s

平成30年9月4日記録

(昭和51年3月～統計開始)

日最大瞬間風速

東南東 31.5 m/s

平成30年9月4日記録

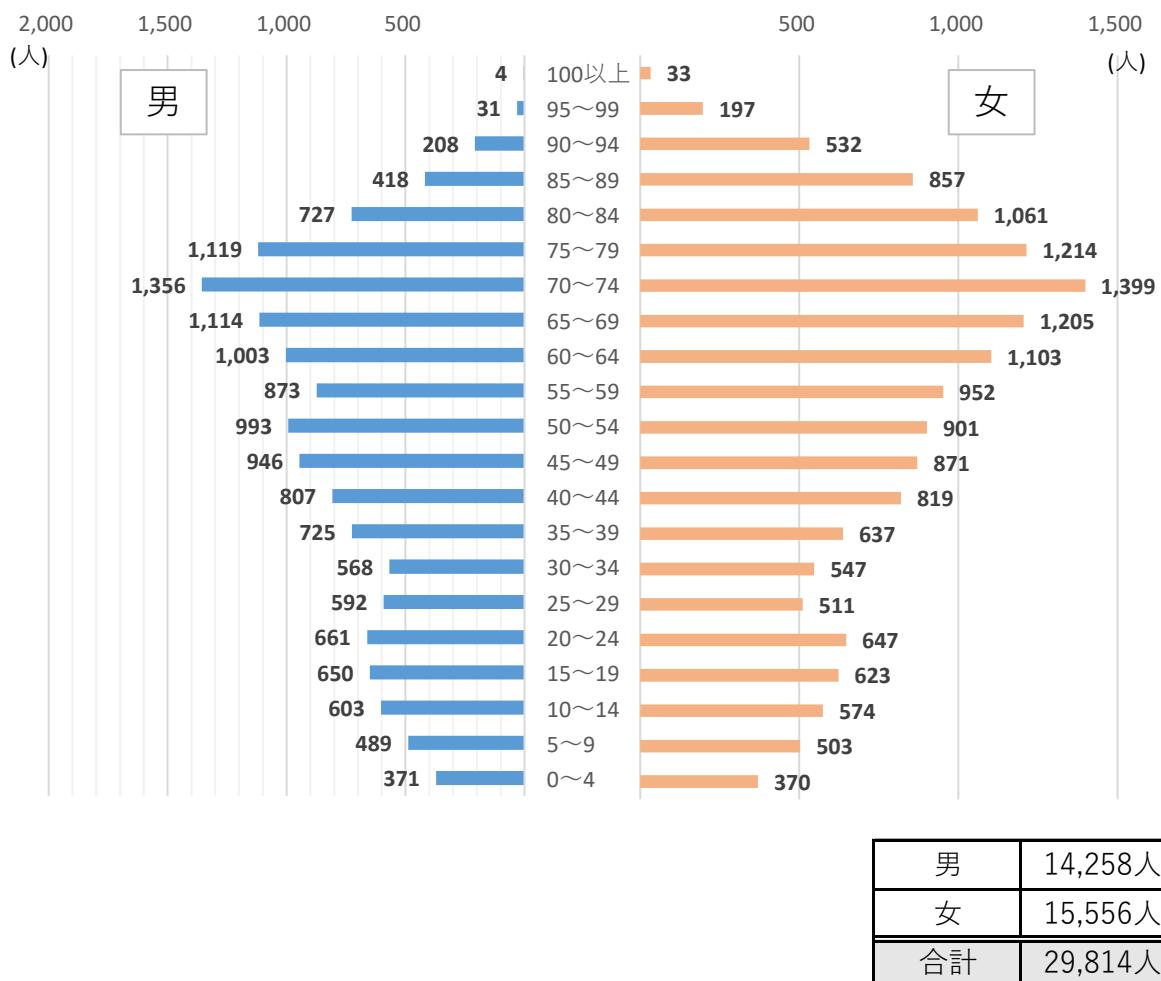
(平成20年3月～統計開始)

観測所名（所在地）

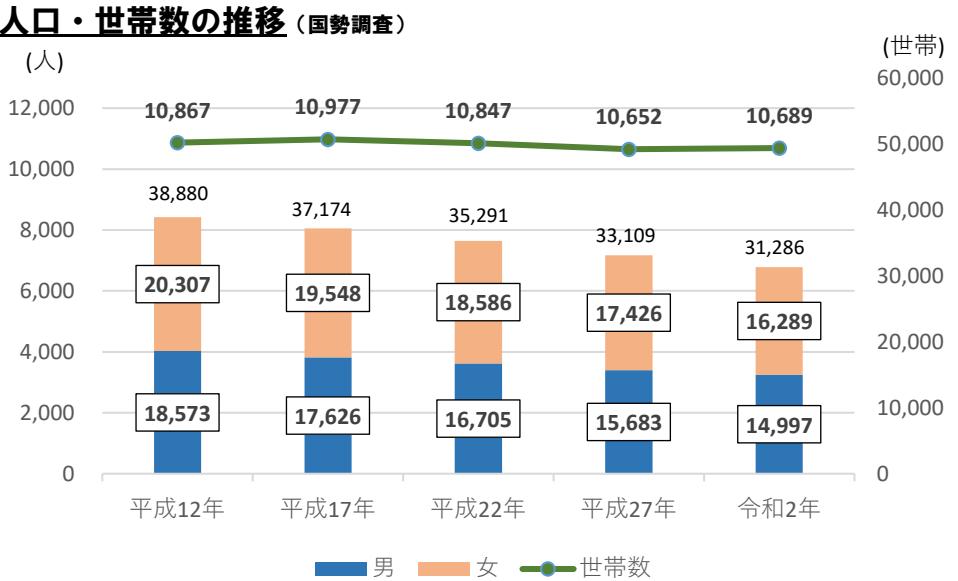
大野地域気象観測所（大野市93字蛇塚四）

人口

人口構成 住民基本台帳（令和7年1月1日現在 資料：市民生活・統計課）



人口・世帯数の推移（国勢調査）



人口

人口動態の推移 住民基本台帳（資料：市民生活・統計課）

(単位：人)

		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
自然動態	出生	男	72	90	80	68	54	64
		女	89	101	72	81	56	52
		計	161	191	152	149	110	116
	死亡	男	279	221	247	266	286	298
		女	287	240	289	312	257	297
		計	566	461	545	578	543	595
	自然増減	-405	-270	-393	-429	-433	-479	
社会動態	転入	男	342	265	293	389	391	321
		女	404	253	311	419	450	417
		計	746	518	604	808	841	738
	転出	男	445	389	437	488	440	398
		女	513	434	483	542	492	487
		計	958	823	920	1030	932	885
	社会増減	-212	-305	-316	-222	-91	-147	
人口増減		-617	-575	-709	-651	-524	-626	

※外国人含む。

財政

令和6年度一般会計決算（市決算書）

【歳入】

項目	金額(万円)	割合
地方交付税	725,078	29.2%
市税	380,938	15.3%
国庫支出金	380,314	15.3%
県支出金	324,000	13.0%
繰入金	196,347	7.9%
市債	115,316	4.6%
繰越金	94,586	3.8%
地方消費税交付金	82,763	3.3%
諸収入	63,218	2.5%
地方譲与税	29,080	1.2%
使用料及び手数料	25,763	1.0%
寄附金	19,478	0.8%
法人事業税交付金	15,699	0.6%
財産収入	10,304	0.4%
株式等譲渡所得割交付金	8,256	0.3%
配当割交付金	4,661	0.2%
地方特例交付金	3,501	0.1%
環境性能割交付金	2,722	0.1%
分担金及び負担金	1,060	0.0%
交通安全対策特別交付金	252	0.0%
利子割交付金	165	0.0%
合計	2,483,501	100.0%

【歳出】

項目	金額(万円)	割合
民生費	563,645	23.6%
総務費	470,860	19.7%
教育費	335,089	14.0%
土木費	277,727	11.6%
衛生費	260,166	10.9%
公債費	136,583	5.7%
農林水産業費	130,319	5.4%
商工費	116,774	4.9%
消防費	69,313	2.9%
議会費	17,431	0.7%
労働費	11,865	0.5%
災害復旧費	3,116	0.1%
合計	2,392,888	100.0%

令和5年度市税収入（市決算書）

項目	金額(万円)	割合
市民税	154,743	40.6%
固定資産税	183,212	48.1%
軽自動車税	13,445	3.5%
たばこ税	19,229	5.0%
入湯税	554	0.1%
都市計画税	9,755	2.6%
合計	380,938	100.0%

令和5年度会計別決算（市決算書）

(単位：万円)

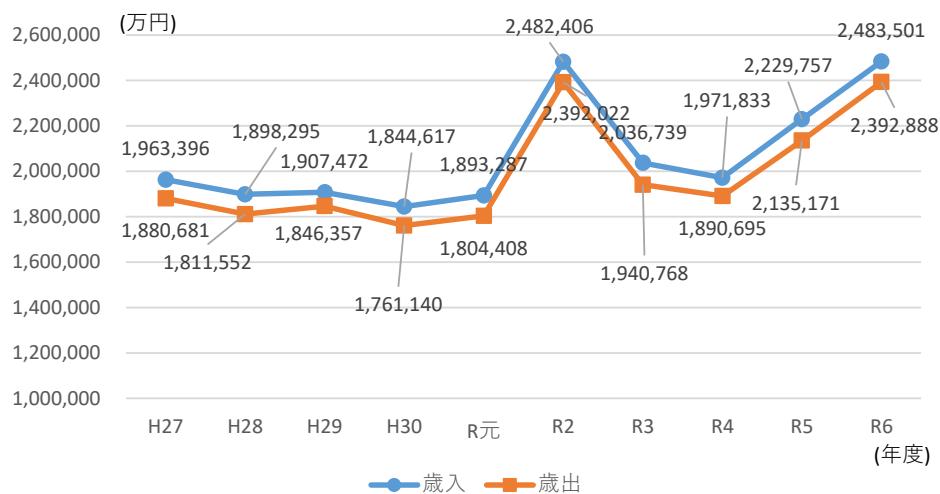
会計名	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	2,483,501	2,392,888
特別会計	国民健康保険事業	321,298
	和泉診療所事業	7,986
	後期高齢者医療	57,255
	介護保険事業(保険事業勘定)	410,314
	介護保険事業(介護サービス事業勘定)	1,224
企業会計	水道事業	16,988
	簡易水道事業	20,146
	下水道事業	195,479
		226,066

※企業会計の決算額は収益的収支と資本的収支の合計額となっており、資本的収支の支出に対する収入の不足分は留保資金などで補てん

※農業集落排水事業特別会計は令和6年度から企業会計に移行し、下水道事業会計と統合

財政

一般会計決算額の推移（市決算書）



令和6年度市民一人当たりの市税負担額（財政経営課）

項目	金額(円)
固定資産税	52,335
市民税(法人市民税を含む)	61,963
たばこ税	4,547
軽自動車税	6,503
都市計画税	187
入湯税	3,299
合計	128,834

令和6年度市民一人当たりの一般会計歳出決算額（財政経営課） 809,283円

令和6年度財政力指数（財政経営課） 0.423

産業経済

産業別就業者の構成 (令和2年国勢調査)

	人数	割合
第1次産業		
農業	1,174人	6.92%
林業	71人	0.42%
漁業	5人	0.03%
鉱業、採石業、砂利採取業	6人	0.04%
第2次産業		
建設業	2,229人	13.14%
製造業	3,267人	19.26%
第3次産業		
電気・ガス・熱供給・水道業	147人	0.87%
情報通信業	151人	0.89%
運輸業・郵便業	470人	2.77%
卸売業、小売業	2,159人	12.73%
金融業、保険業	315人	1.86%
不動産業、物品賃貸業	105人	0.62%
学術研究、専門・技術サービス業	395人	2.33%
宿泊業、飲食サービス業	614人	3.62%
生活関連サービス業、娯楽業	534人	3.15%
教育、学習支援業	761人	4.49%
医療、福祉	2,554人	15.06%
複合サービス事業	283人	1.67%
サービス業	859人	5.06%
公務	582人	3.43%
分類不能	283人	1.67%
総数	16,964人	100.00%

通勤・通学別流入人口 (令和2年国勢調査 [15歳以上])

流出人口(大野市から他市町村へ)	
通勤	4,419人
通学	394人
合計	4,813人
流入人口(他市町村から大野市へ)	
通勤	2,209人
通学	130人
合計	2,339人

産業別事業所数・従業員数 (令和3年経済センサス・活動調査)

	件	人
第1次産業		
農業、林業、漁業	53件	789人
第2次産業		
建設業	264件	1,605人
製造業	185件	2,796人
第3次産業		
電気・ガス・熱供給・水道業	3件	107人
情報通信業	6件	18人
運輸業・郵便業	24件	252人
卸売業、小売業	391件	2,232人
金融業、保険業	28件	254人
不動産業、物品賃貸業	33件	131人
学術研究、専門・技術サービス業	48件	246人
宿泊業、飲食サービス業	203件	681人
生活関連サービス業、娯楽業	162件	549人
教育、学習支援業	39件	267人
医療、福祉	147件	1,707人
複合サービス事業	15件	145人
サービス業	136件	703人
総数	1,737件	12,482人

発電所最大出力 (令和4年3月31日福井県統計年鑑)

発電所	発電量
長野	220,000kw
湯上	54,000kw
西勝原第3	49,500kw
富田	19,200kw
中島	18,900kw
五条方	18,100kw
真名川	14,200kw
西勝原第1	10,900kw
上打波	10,400kw
西勝原第2	7,200kw
下打波	4,600kw
東勝原	2,800kw
中島第2	2,400kw
仏原ダム	220kw
合計	432,420kw

産業経済

工業調査（令和3年経済センサス・活動調査）※Xは非公開

産業分類	事業所数	製造品出荷額等(万円)	従業者数(人)
食料品	10	57,958	78
飲料・たばこ・飼料	3	34,253	29
繊維	36	501,904	648
木材・木材品	2	X	167
家具・装備品	6	267,246	176
パルプ・紙・紙加工品	3	30,874	46
印刷	2	X	25
プラスチック	5	56,342	51
窯業・土石	5	254,936	48
金属	8	286,050	96
はん用機械	1	X	6
生産用機械	3	7,988	14
電子・デバイス・電子回路	5	2,172,004	719
電気機械	2	X	64
情報通信機械	1	X	38
輸送機械	2	X	95
その他	7	229,977	215

商業調査（令和3年経済センサス・活動調査）※Xは非公開

産業区分	商店数(店)	従業員数(人)	年間商品販売額(百万円)
卸売業			
各種商品卸売業	—	—	—
繊維・衣料等卸売業	—	—	—
飲食料品卸売業	9	45	X
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	11	32	464
機械器具卸売業	14	80	2,437
その他の卸売業	5	14	X
卸売業小計	39	171	3,852
小売業			
各種商品小売業	1	3	X
繊維・衣料・身の回り品小売業	51	116	535
飲食料品小売業	85	643	10,240
機械器具小売業	50	251	5,527
その他小売業	115	605	11,440
無店舗小売業	6	30	X
小売業小計	308	1,648	28,178
合計	347	1,819	32,031

産業経済

農業就業人口 (2020年世界農林業センサス)

年齢	男	女	合計
15~39歳	8人	5人	13人
40~59歳	41人	22人	63人
60歳以上	523人	386人	909人
合計	572人	413人	985人

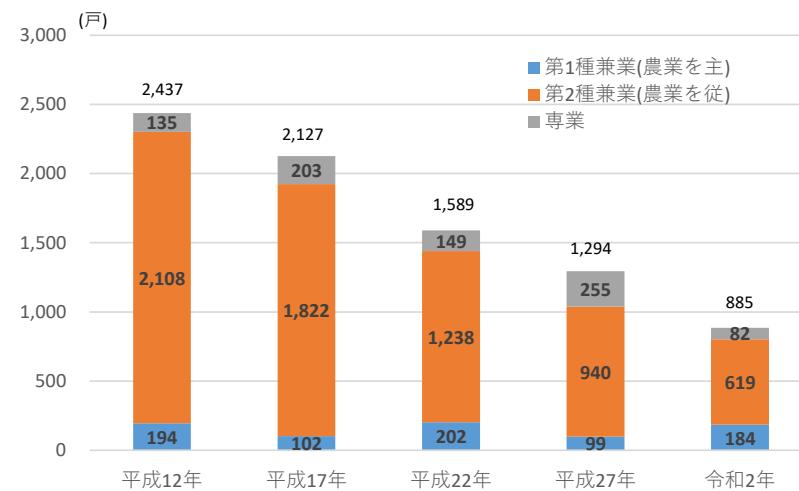
経営耕地面積規模別経営体数 (2020年世界農林業センサス)

規模	経営体数
3ha以上	124
2~3ha	112
1.5~2ha	137
1~1.5ha	195
0.5~1ha	251
0.3~0.5ha	86
0.3ha未満	28
合計	933

経営形態別森林面積 (令和5年度福井県林業統計書)

種別	経営体	面積	割合
国有林	林野庁管轄（官行造林含む）	20,434ha	26.9%
	林野庁外	230ha	0.3%
	国有林小計	20,664ha	27.3%
民有林	公有林	11,116ha	14.7%
	私有林	44,045ha	58.1%
	民有林小計	55,161ha	72.7%
合計	75,825ha		

専・兼業別農家の推移 (2020年世界農林業センサス)



森林形態別面積 (令和5年度福井県林業統計書) (単位 : ha)

区分	民有林	国有林	計
人工林	針葉樹林	16,885	1,478
	広葉樹林	299	1,078
天然林	針葉樹林	151	312
	広葉樹林	35,826	16,102
竹林	9	0	9
伐採跡地	26	0	26
未立木地	1,965	1,692	3,657
計	55,161	20,662	75,823

※単数四捨五入により合計が合わない場合があります

教育・文化・福祉

学校（令和7年5月1日現在学校基本調査 資料：教育総務課）

	学校数	児童・生徒数	教員数
小学校	9校	1,255人	132人
中学校	2校	705人	60人

義務教育施設の状況（令和7年5月1日現在 資料：教育総務課）

	小学校	中学校
児童・生徒1人当たりの校舎面積	28.12m ²	16.69m ²
児童・生徒1人当たりの運動場面積	76.54m ²	45.75m ²
1学級当たりの児童・生徒数	15.30人	22.74人
教員1人当たりの児童・生徒数	9.51人	11.75人

保育所（令和7年3月31日現在 資料：こども支援課）

	施設数	園児数	保育士数
保育所	3園	106人	29人

認定こども園（令和7年3月31日現在 資料：こども支援課）

	施設数	園児数	保育教諭数
認定こども園	10園	806人	128人

地域型保育事業（令和7年3月31日現在 資料：こども支援課）

	施設数	園児数	家庭的保育者数
小規模保育C型	1園	4人	2人

指定文化財

（令和7年3月31日現在 資料：生涯学習・文化財保護課）
(単位:点数)

種別	国	県	市
建造物	1	1	3
絵画		9	8
彫刻		1	19
工芸品			6
書跡		2	10
典籍			3
古文書			19
考古資料			11
歴史資料			3
無形民俗文化財		3	2
有形民俗文化財			1
史跡		1	13
名勝		1	
天然記念物	3	2	8
合計	4	20	106

登録有形文化財

（令和7年3月31日現在 資料：生涯学習・文化財保護課）
(単位:点数)

種別	国	県	市
建造物	15	—	—

環境衛生

上水道状況（令和7年3月31日現在 資料：上下水道課）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
給水人口	4,559人	4,544人	4,397人	4,327人	4,264人
給水戸数	1,649戸	1,683戸	1,717戸	1,754戸	1,752戸
利用率	14.2%	14.5%	14.2%	14.3%	14.4%

下水道状況（令和7年3月31日現在 資料：上下水道課）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
整備面積	697.1ha	711.5ha	738.9ha	750.6ha	762.8ha
処理人口	17,787人	18,004人	17,799人	18,381人	18,252人
下水道普及率	55.4%	57.4%	57.8%	60.8%	61.7%
水洗化戸数	2,318戸	2,395戸	2,752戸	2,999戸	3,151戸
水洗化人口	6,649人	6,866人	7,103人	7,403人	7,665人
水洗化率	37.3%	38.1%	39.9%	40.3%	42.0%

簡易水道状況（令和7年3月31日現在 資料：上下水道課）

管理別	設置数	給水人口	利用率
市営	11	3,697人	23.1%
地区営	31	3,138人	

農業集落排水状況（令和7年3月31日現在 資料：上下水道課）

	処理区数	集落数	利用戸数	利用人口
供用開始	15処理区	53地区	1,725戸	5,355人

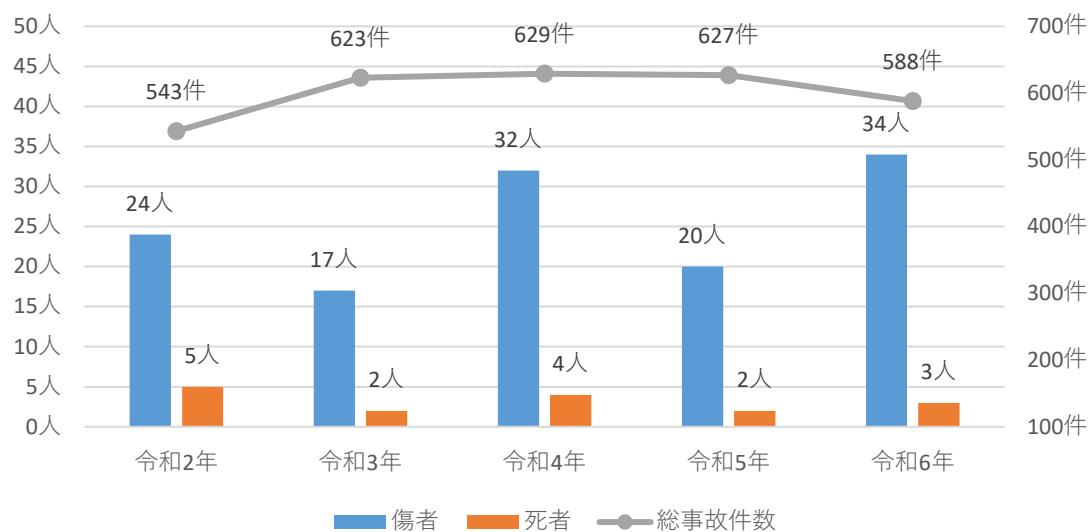
合併処理浄化槽状況（令和7年3月31日現在 資料：上下水道課）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計(H元～R5)
補助基數	5基	6基	6基	9基	4基	1,698基 (108基)

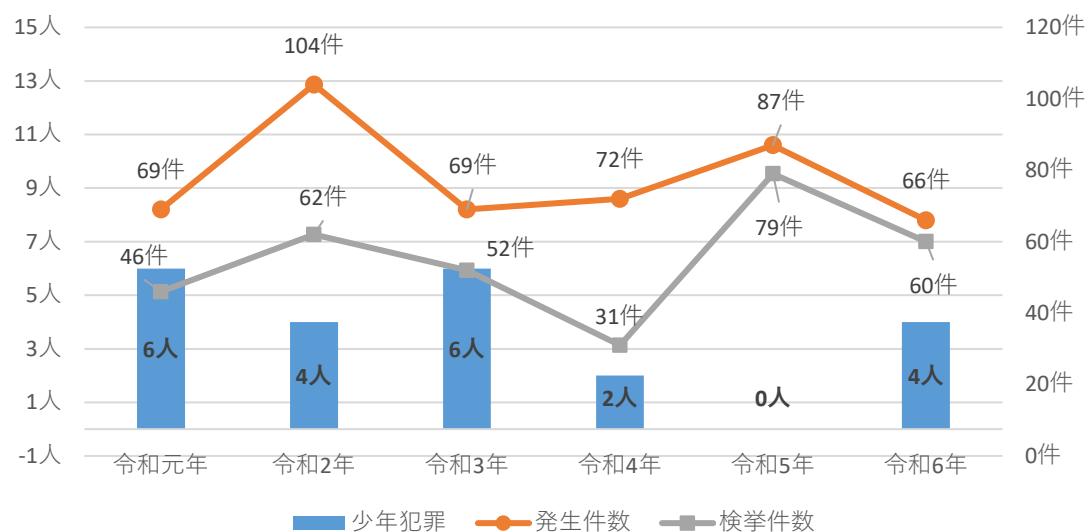
()は旧和泉村内数

警察・消防

大野警察署管内の交通事故発生状況（資料提供：大野警察署）

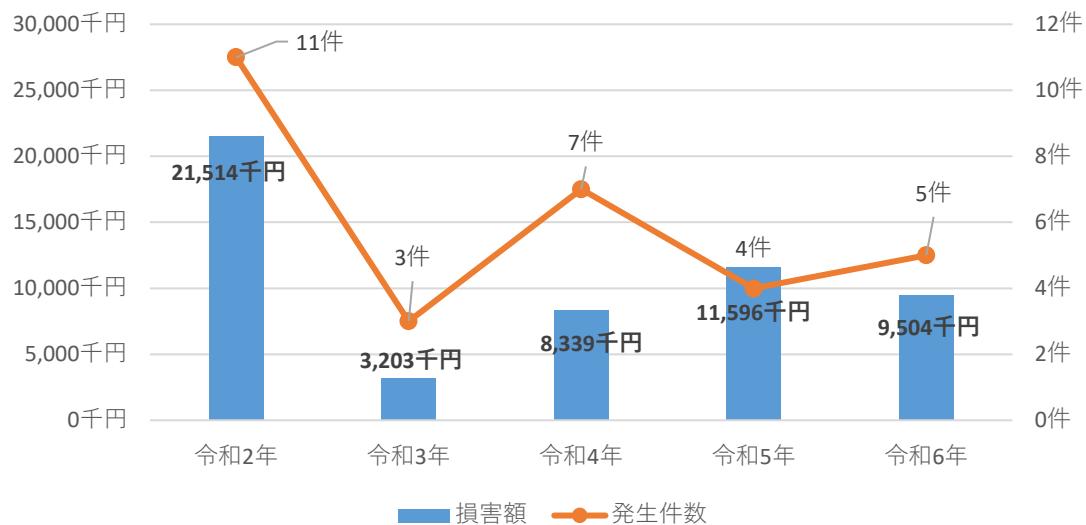


大野警察署管内の犯罪発生状況（資料提供：大野警察署）



警察・消防

火災損害額と発生件数の推移（資料提供：大野市消防本部）



救急業務実施状況（令和6年 資料提供：大野市消防本部）

種別	件数(件)
急病	916
一般負傷	238
交通	91
労働災害	5
自損行為	6
運動競技	8
加害	4
水難	5
火災	1
その他	179
その他	1,453

←内訳： 転院搬送 176
その他 3

市民生活 (令和6年中または令和6年12月末現在)

世帯人数	出生	死亡	婚姻	離婚	転入(引越)	転出(引越)
1世帯当たり 2.6人	1日に 0.3人	1日に 1.6人	1日に 0.2人	1日に 0.1人	1日に 2.0人	1日に 2.4人
市職員	病院・診療所	救急出動	火災	交通事故 (総件数)	自家用乗用車台数 (軽自動車を含む)	ごみ
市民 に1人 ※R7.4.1現在	市民 に1ヵ所 ※R7.4.1現在	1日に 4.0件 ※令和6年中	73日 に1件 ※令和6年中	1日に 1.6件 令和6年中	1世帯当たり 1.8台 R7.4.1現在	一人1日当たり 848g R7.4.1現在

大野市年表①

- 昭和29年 1954
7月1日 2町6カ村(大野町・下庄町・乾側村・小山村・上庄村・富田村・阪谷村・五筒村)が合併して大野市誕生。市報第1号発行
8月 初代市長に斎藤重雄氏就任
- 昭和30年 1955
1月 初の市議会議員選挙で、30人が当選
9月 消防本部・消防署・消防訓練所を設置
- 昭和31年 1956
6月 越美北線起工式
- 昭和32年 1957
5月 下庄小学校に初の鉄筋校舎完成
- 昭和33年 1958
4月 市営農場事業開始
8月 第2代市長に森廣治兵衛氏就任
10月 じん芥焼却場完成。北陸電力富田・壁倉・打波発電所運転開始
- 昭和34年 1959
1月 選挙区(市議)条例廃止、1選挙区に
8月 台風8号で豪雨(被害額約3億5千万円)。台風15号(伊勢湾台風)襲来(被害額約4億円)
- 昭和35年 1960
1月 大野地区画整理事業完成(換地処分)
4月 富田・勝原中学校を統合して東部中学校(仮称)創立
12月 市庁舎新築工事着手。越美北線福井~勝原間が開通
- 昭和36年 1961
7月 北陸初の農薬空中散布実施
8月 市内の電話が自動化。北美濃地震発生(被害額約20億円)
9月 荒島岳にてレビ中継局完成。第二室戸台風襲来(被害額約30億円)
- 昭和37年 1962
4月 東部中学校と阪谷中学校を統合し、尚徳中学校に改称。
阪谷小学校六呂師分校が独立
5月 市役所新庁舎完成
- 昭和38年 1963
1月 38豪雪(最深積雪306cm、被害額約8億3千万円)
4月 機構改革で出張所を廃止し、行政事務の一部を公民館に
- 昭和39年 1964
4月 越美北線越前田野駅開設
8月 救急業務開始
- 昭和40年 1965
4月 大野工業高校開校
8月 全日本ソフトボール選手権大会開催
9月 「40・9風水害」台風23・24号で記録的な豪雨(被害額約44億円・死者2名)
12月 農村集団電話開通
- 昭和41年 1966
3月 大野市農協発足
6月 土井利忠公百年祭
8月 第4代市長に寺島利鏡氏就任
9月 駅東地区画整理事業完成
10月 新町名を施行(29町297街区)。初の私立いとよ保育園開設
- 昭和42年 1967
6月 真名川ダム建設に着手
8月 全国高校相撲選手権大会開催
9月 財政再建準備用団体に指定。大野城の復元工事開始
- 昭和43年 1968
3月 越美北線北大野駅営業開始
4月 市営農場廃止
8月 越前大野城・郷土歴史館完成。第1回城まつり開催
10月 福井国体開催。体操の羽生選手がメキシコオリンピック出場
- 昭和44年 1969
1月 日本コンデンサ工業誘致
8月 上若生子・下若生子廃村
12月 旧橋本家住宅が国文化財に指定
- 昭和45年 1970
7月 西谷村を編入合併
- 昭和46年 1971
2月 大野市森林組合発足
4月 有終・小山、下庄・乾側中学校を廃止して開成中学校、陽明中学校を発足
5月 県立奥越高原牧場開設
7月 市営葬畜場完成
- 昭和47年 1972
7月 広域市町村圏事務組合発足
10月 奥越合同庁舎完成
11月 真名川ダム完成
12月 越美北線勝原~朝日間開通
- 昭和48年 1973
3月 大野市振興計画策定。財政再建完了
7月 休日診療制度発足。大野地区消防組合発足。県立奥越青少年の森完成
11月 国の重要文化財「旧橋本家」復元
- 昭和49年 1974
8月 京福電鉄大野~勝山間廃線
10月 県道大野・墨俣線の温見峠開通
- 昭和50年 1975
4月 主要地方道大野・墨俣線が国道157号に昇格
7月 広域基幹林道法恩寺線建設工事着手
8月 旧西谷村廃村10周年記念式典
- 昭和51年 1976
1月 都市計画街路中挟中野大橋線開通
4月 特別豪雪地帯に指定
7月 市街地のごみを分別収集
8月 国道158号馬返しトンネル開通
11月 有終会館オーブン。小・中学校で米飯給食実施
- 昭和52年 1977
3月 県営真名川発電所完成
10月 真名川ダム完成(総工費352億円)
11月 地下水保全条例制定
- 昭和53年 1978
3月 有終東小学校開設
6月 寺島市長死去
7月 第7代市長に川崎泰彦氏就任
8月 市街地南部で上水道建設工事着手
9月 市民憲章制定
- 昭和54年 1979
1月 上水道試験給水開始
3月 真名川ダム建設工事完了
5月 老人福祉センターオーブン
11月 大野郵便局舎完成
12月 県立大野青年の家オーブン
- 昭和55年 1980
3月 市総合計画基本構想策定
4月 衛生処理場改築工事完了。都市計画街路七間線の清滝川~富田大橋間開通
7月 宝慶寺いこいの森完成
10月 皇太子殿下ご夫妻が来市
12月 名誉市民第1号に福田一氏
- 昭和56年 1981
1月 56豪雪。陸上自衛隊が救援。最深積雪264cm。北部地区画整理区域に7町5行政区誕生
5月 下庄公民館・勤労青少年ホーム完成
- 昭和57年 1982
4月 休日急救診療所オーブン
11月 国道157号中島トンネル開通
- 昭和58年 1983
3月 防雪基地管理棟完成
9月 大野地域職業訓練センター完成
10月 市役所機構改革で大課制採用
- 昭和59年 1984
2月 地下水位低下で井戸枯れ多発
7月 市制30周年記念行事開催。市の花・木・鳥に「コブシ」「ケヤキ」「ウグイス」を制定
10月 農業者健康管理センター完成。市政30周年記念大相撲大野場所開催。三大朝市まつり開催
11月 市内局番が二ヶタに

大野市年表②

●昭和60年 1985
1月 大野高校サッカー部全国大会出場。御清水が名水百選に
2月 北部第二土地区画整理事業が終了し、新町名でスタート
3月 大野高校定時制夜間部廃止
5月 B&G海洋センター完成。図書館オープン
10月 大野工業高校創立20周年
11月 大野高校創立80周年

●昭和61年 1986
5月 こぶし通り開通
6月 第9代市長に山内武士氏就任
8月 歴史民俗資料館・産業文化展示館完成
9月 勤労者体育施設サンスポーツランド完成

●昭和62年 1987
1月 大野高校サッカー部全国大会出場
4月 休日急患診療所が土曜診療開始
10月 市の窓口業務をオンライン化
12月 環境庁の「星空の街」に選ばれる

●昭和63年 1988
5月 ふるさと自然の家完成
8月 第4回全国水環境保全シンポジウム開催
10月 広域基幹林道法恩寺線開通

●昭和64・平成元年 1989
2月 大野地区消防本部新庁舎完成
4月 県済生会病院と市・議会・医師会で「済生会大野病院」建設委員会発足
5月 国道158号下唯野地籍で土砂崩れ
6月 多田記念大野有終会館完成
10月 初代「ミスおおの」誕生
12月 有機溶剤で地下水汚染

●平成2年 1990
1月 市役所第2・第4土曜の開庁開始
2月 地下水汚染地域へ仮設水道敷設
4月 古河市と姉妹都市盟約調印
6月 越美北線がワンマン化、鉄道部発足
7月 県自然保護センター完成
8月 六呂師高原で全国スポーツ少年大会開催。大野高校野球部初の甲子園で惜敗
9月 済生会病院誘致を断念。同建設委員会解散

●平成3年 1991
3月 大野高校野球部センバツ開幕試合で初勝利
4月 大野東高校開校。エキサイト広場総合体育施設・石灯籠会館完成
7月 越美北線にSLメルヘン号運行
11月 中据工業団地造成完了

●平成4年 1992
3月 大野～敦賀間が国道476号に昇格
5月 七間通りの石畳舗装完成
7月 麻那姫像除幕式。六呂師高原で緑の少年団全国大会開催
9月 越美北線に新型車、通勤快速運行

●平成5年 1993
1月 市役所完全週休二日制導入
3月 名水訴訟、裁判所が原告の訴え棄却。丹羽鉄工所が工場進出断念
4月 新庄に大野高校新校舎完成。御清水会館完成
6月 寺町通り石畳舗装完成
7月 武家屋敷旧内山家オープン
8月 大野高校サッカー部インターハイ出場。笹生川ダム水没者40周年の集い
10月 戦後最低の凶作（作況指數89）

●平成6年 1994
3月 真名川憩いの島完成
4月 石灯籠通り石畳塗装、元町会館が完成し、歴史の路整備事業完了
6月 第11代市長に天谷光治氏当選

●平成7年 1995
1月 阪神大震災で当市からも救援活動
3月 市のシンボルマーク制定

●平成8年 1996
3月 当市が国土庁「水の郷百選」に
4月 市役所機構改革（部制導入）。寧波市訪日団当市へ
5月 平家平ブナ林196ヘクタール取得
8月 中野工業団地に「福井大倉産業」完成
11月 市庁舎別館完成
12月 中部縦貫自動車道「大野インター」中津川に決定

●平成9年 1997
3月 篠座地区画整理事業完了。茜町誕生
4月 中据工業団地に「永野家具工業」完成
5月 国道158号（犬山～美山町計石）バイパス開通
9月 名誉市民・福田一元衆議院議長死去、県・市合同追悼式。大野城下町地区が都市景観大賞「都市景観百選」に

●平成10年 1998
7月 元町会館が手づくり郷土賞に認定
11月 うらら館落成
●平成11年 1999
6月 「株式会社平成大野屋」創立
7月 青島工業団地進出の「ニチコン富田工場」操業開始
8月 イトヨシンポジウム開催
10月 ねんりんピック'99福井卓球交流大会開催。まちなか観光拠点施設「平成大野屋」オープン。HOPE計画全国シンポジウム99開催

●平成12年 2000
3月 大野高校女子ソフトボール部全国大会に出場
4月 まちなか観光拠点施設「平成大野屋・平蔵」オープン。健康保養施設「あっ宝んど」落成。大野市環境基本計画を策定
7月 休日急患診療所に「小児科」新設。「恐竜エキスポふくい2000」のサブ会場に。新富田大橋完成
8月 中山間地域農村活性化施設「スターランドさかだに」完成

●平成13年 2001
4月 奥越運動転者教育センター落成
5月 青島工業団地で「ニチコン福井」操業
7月 本願清水平トヨの里オープン
10月 全国青年市長会が大野市で開催
11月 市営住宅「大野市東二番町屋住宅」が完成、アメニティあふれるまちづくり表彰（環境省）を受賞

●平成14年 2002
1月 平成大野屋事業などが地域づくり総務大臣表彰（活力あるまちづくり産業経済部門）を受賞
2月 市営住宅「大野市西二番町屋住宅」が完成
3月 乳製品加工体験等施設「ミルク工房奥越前」オープン
4月 大野市環境マネジメントシステムが環境ISO14001認証取得
7月 小山工業団地へ「タニコー」進出決まる。大野高校琴サークルが世界青少年音楽祭に登場

●平成15年 2003
3月 大野准看護学院が40年の歴史に幕
4月 公共下水道一部供用開始。福井大学と相互友好協力協定に調印
9月 木造住宅団地「フォレストタウン大野」分譲開始
10月 大野市・和泉村合併協議会を設置
11月 HOPE大賞受賞

●平成16年 2004
3月 さくらんぼ幼保園がスタート
7月 平成16年7月福井豪雨（被害額約12億円）
9月 トゲウオ全国サミットに秋篠宮さまご臨席。民家周辺にクマ出没相次ぐ
10月 「スパレク福井2004」大野でインディアカ大会開催

●平成17年 2005
4月 平成大野屋「二階蔵」オープン
10月 「国民文化祭・ふくい2005」大野で「民謡・民舞の祭典」「ぎゅっと LIVE in ONO」開催
11月 和泉村と合併し和泉支所を開設
12月 大野市地下水保全管理計画を策定。大野市雪害対策本部を21年ぶりに設置

大野市年表③

- 平成18年 2006
- 1月 健康保養施設「あっさんど」が入館者100万人突破
 - 4月 六呂師小学校廃止。大野・勝山地区広域ごみ処理施設稼働
 - 7月 第14代市長に岡田高氏就任
 - 9月 学びの里「めいりん」オープン。民家周辺にクマ出没相次ぐ
- 平成19年 2007
- 1月 岐阜県郡上市と災害時相互応援協定締結。愛知県岩倉市と友好交流に関する合意書に署名
 - 4月 消防訓練所完成
 - 6月 「中部縦貫自動車道大野油坂道路早期整備総決起大会」開催。平成16年7月福井豪雨で被災の越美北線が全線復旧
 - 7月 越前大野城の屋根瓦補修工事が完了
 - 10月 秋篠宮さまご臨席のもと「湧水保全フォーラム全国大会in越前おおの」開催
- 平成20年 2008
- 2月 図書館リニューアル工事が完了し、業務再開
 - 3月 越前おおのブランド大使に清水國明氏ら4人を委嘱
 - 4月 越前おおの・阪谷有機の里づくり推進協議会の事業が国の支援事業に採択される
 - 5月 ふるさと納税スタート
 - 6月 本願清水が環境省の「平成の名水百選」に選ばれる
 - 7月 「大野市中心市街地活性化基本計画」が国の認定を受ける。「森と湖に親しむつどい2008九頭竜湖・麻那姫湖サマーフェスタ」開催
 - 8月 北部第三土地区画整理事業の換地処分公告。市で初の総合防災訓練を実施
 - 10月 大野市を含む6団体・企業が「越前おおのエコフィールド共働宣言」発表。大野公民館が優良公民館として文部科学大臣表彰を受賞
- 平成21年 2009
- 1月 中部日本スキー大会開催で常陸宮夫妻が本市を訪問
 - 3月 中部縦貫自動車道大野油坂道路大野東・和泉間新規着工が了承。証明書等交付機を運用開始。教育理念を決定
 - 4月 一般財団法人越前おおの農林業振興会発足。大野商工会議所会館完成
 - 6月 全国植樹祭を奥越会場でも開催
 - 8月 越前おおのブランド大使にマーレン・アニカ・エーラス氏を委嘱
 - 11月 越前おおの食文化の祭典と全国高校生食育王選手権大会を開催
- 平成22年 2010
- 3月 越前大野城築城430年祭開幕。森目小学校が137年の歴史に幕
 - 4月 市道六間線が貫き、越前おおの結ステーションが完成
 - 6月 市長選で岡田高氏が再選
 - 10月 越前大野城築城430年祭メインイベント開催。市ホームページ携帯電話用サイトを公開
 - 12月 JR越美北線が開業50周年を迎える
- 平成23年 2011
- 1月 大野市雪害対策本部を5年ぶりに設置
 - 2月 越前大野城築城430年祭閉幕 第五次大野市総合計画策定
 - 3月 東日本大震災で当市からも救援・支援活動
 - 4月 奥越明成高校開校 真名川から毎秒0.1トンの水利権取得
 - 7月 中部縦貫自動車道小矢戸トンネル貫通
 - 9月 越前おおの湧水文化再生計画策定
 - 10月 JR越前大野駅前広場完成 イトヨの里開館10周年記念「湧くわく水サミットin越前おおの」開催
 - 12月 庁舎整備基本計画策定
- 平成24年 2012
- 3月 城下町東広場がオープン。蕨生小学校が138年の歴史に幕。義景保育園閉園
 - 4月 多田記念大野有終会館が、保健・医療・福祉サービス拠点機能を加え「結とびあ」としてオープン
 - 7月 芹川用水・まちなか交流通路が完成
 - 9月 市のブランドキャッチコピーを「結の故郷越前おおの」に決定。大野市森・水保全条例を制定
 - 10月 地理情報システム(GIS)「越前おおのの結マップ」公開開始

- 平成25年 2013
- 1月 まちづくり会社「株式会社結のまち越前おおの」設立
 - 2月 越前おおのブランド戦略策定
 - 3月 大野市自転車を活用したまちづくり計画策定。中部縦貫自動車道永平寺大野道路の大野・勝山間が開通。「第2期大野市中心市街地活性化基本計画」が国の認定を受ける
 - 6月 庁舎整備工事の起工式
 - 7月 第15回日本水大賞環境大臣賞を受賞
 - 10月 大野市公共施設再編計画を策定
 - 11月 城下町西広場が完成
 - 12月 名誉市民第2号に山崎昭氏
- 平成26年 2014
- 1月 タニコー株式会社と小山工業団地の新工場建設の協定締結
 - 3月 結の故郷発祥祭開幕。富田幼稚園と荒島保育園が幼保一体化でスタート
 - 6月 市長選で岡田市長が再選。大野市消防団「結の故郷女性分団」結成
 - 7月 市制施行60周年記念式典。大野市地酒で乾杯を推進する条例制定
 - 9月 大野市結の故郷奨学金貸与条例制定
 - 11月 市役所新庁舎完成
 - 12月 大野市議会基本条例制定
- 平成27年 2015
- 1月 市役所新庁舎落成。道の駅「(仮称)結の故郷」を国が重点道の駅に選定
 - 2月 結の故郷発祥祭閉幕
 - 4月 武家屋敷旧田村家オープン
 - 6月 中部縦貫自動車道 大野一大野東間事業化決定
 - 6月 越前オウレンが林業遺産認定
 - 8月 越前おおのブランド大使に齊藤一郎氏を委嘱。和泉地区でトリティロドン類の化石が発見される
 - 10月 大野市人口ビジョン・総合戦略策定。奥村仁志さんが国体少年男子B抱丸投げで、日本中学生新記録を樹立
 - 12月 市議会が県内初の「大野市健全な水循環のまち宣言」を決議
- 平成28年 2016
- 1月 水への恩返し財団発足。日本ユニセフ協会と自治体初のパートナーシップ締結
 - 3月 第五次大野市総合計画後期基本計画策定。結の故郷ふるさと教育推進計画策定。白山ユネスコパークの拡張登録が決定
 - 4月 城下町南広場落成。市特用林生産・加工施設落成。五木ひろしさんが大野で新曲発表会
 - 7月 タニコー(株)が、小山工業団地で物流センター建設着手。東勝原で鳥脚類恐竜の歯の化石が発見される
 - 9月 国道157号(大野バイパス)の4車線化が完了
 - 11月 大野市公式ホームページを全面リニューアル
- 平成29年 2017
- 1月 六呂師高原スキー場が営業開始。小中学校再編計画策定
 - 4月 越前大野城が続日本100名城に選ばれる
 - 5月 東ティモールへの給水施設整備支援で2箇所に給水施設が完成
 - 7月 水の副読本を全国の小中高校と特別支援学校約4万校へ配布。中部縦貫自動車道永平寺大野道路が全線開通
 - 8月 第50回おおの城まつりを開催
 - 10月 化石発掘体験センター「HOROSSA!」オープン
 - 11月 上庄さといが国際的地理的表示(GI)保護制度に登録
- 平成30年 2018
- 2月 九頭竜の積雪が統計開始以来最多の301cmを記録
 - 3月 市民アートギャラリー「COCONOアートプレイス」オープン
 - 4月 六呂師高原スキー場が北陸最初の人工ゲレンデがオープン
 - 7月 第17代市長に石山志保氏就任(北陸三県初の女性市長誕生)
 - 9月 2巡目福井国体(福井しあわせ元気国体・元気大会)開催
 - 10月 ジャカルタ・アジアパラ大会陸上100mで本市出身の伊藤竜也さんが優勝

大野市年表④

●平成31年・令和元年 2019

- 3月 昭和45年以降の統計では初となる市内で1年間交通死亡事故ゼロ達成
5月 和泉地区で岐阜県とドクターへリ共同運航開始
7月 市内で捕獲された野生イノシシから県内で初となる家畜伝染病「豚コレラ」への感染が確認
10月 新たな道の駅の名称が「越前おおの 荒島の郷」に決定
11月 市・県防災訓練と緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練を開催。中部縦貫自動車道大野油坂道路の下山トンネル貫通、九頭竜川橋つながる

●令和2年 2020

- 2月 無料通信アプリ「LINE」の公式アカウントを開設。滋賀県守山市、岐阜県高山市と災害時相互応援協定締結。「大野市新型コロナウィルス対策本部」設置
3月 水に関する学習研究施設「越前おおの水のがっこう」開館
9月 クマが2年連続大量出没
12月 中部縦貫自動車道大野油坂道路の荒島第一トンネル貫通

●令和3年 2021

- 2月 第六次大野市総合計画策定
3月 乾側小学校が93年の歴史に幕
4月 新型コロナワクチン 市内での接種がスタート。道の駅「越前おおの 荒島の郷」がオープン
5月 県ドクターへリ運航開始。東京2020オリンピック聖火リレー市内で開催
10月 JR西日本がダイヤ改正 越美北線の1日の運行本数が3本減便
11月 12年ぶり地下水警報を発令。東京ヤクルトスワローズ中村悠平選手が日本シリーズMVPに

●令和4年 2022

- 1月 富田工業団地へ「モンベル物流拠点施設」の進出決定
6月 市長選で石山市長が再選
7月 大野市文化財保存活用地域計画が文化庁の認定を受ける
8月 令和4年8月大雨、24時間降水量が大野市で観測史上最大211.5mmを記録。道の駅「越前おおの 荒島の郷」が来場者100万人を達成
10月 中部縦貫自動車道大野油坂道路の荒島第2トンネル(4,988m)貫通、県内の道路トンネル最長となる
12月 越美北線が全線開通50周年を迎える

●令和5年 2023

- 3月 モンベル物流センターが富田産業団地に完成。WBC で侍ジャパンが優勝 東京ヤクルトスワローズ中村悠平選手が攻守で活躍
4月 中部縦貫自動車道の工事現場から新種の可能性のアンモナイト化石発掘
8月 南六呂師エリアが星空空保護区®に認定。アーバンナイトスカイプレイス部門でアジア初
10月 「星空の街・あおぞらの街」全国大会開催。中部縦貫自動車道が九頭竜 IC まで開通
11月 東京ヤクルトスワローズ中村悠平選手に第1号の「大野市市民栄誉賞」授与

●令和6年 2024

- 3月 上庄、尚徳、和泉中学校廃止
5月 文化会館でNHK のど自慢開催
7月 大野市制施行70周年を迎え、記念式典を開催
8月 砲丸投げで奥村仁志選手が日本新記録 19m09 を樹立
9月 パリ2024パラリンピック陸上男子100mで伊藤竜也選手が8位入賞
10月 大藤沙月選手が卓球の国際大会「WTTチャンピオンズ・モンペリエ」で優勝